

松本家住宅

所在地 宮城県加美郡加美町字南小路

指 定 国重要文化財（建造物） 昭和 46 年 12 月 28 日

概 要

寄せ棟、茅葺で桁行 5 間半に梁間 3 間半の主屋と、桁行 3 間に梁間 2 間半の土間からなり、屋根は連続してかかります。主屋は最近の復元修理の結果、広間形 3 間取りとなりました。

この住宅は、仙台藩に属した奥山家の家老松本家の住宅として用いられていましたが、奥山家が入封する前の邑主古内家時代〔元禄 7 年(1694)～宝暦 7 年(1757)〕の家中屋敷であったと伝えられています。県中部から北部にかけて分布する主屋と土間を分けた民家の一つで、分棟型住宅として現在知られる北限を示す建物であり、侍屋敷としても全国的にかなり古い遺例とされています。

